

第8分科会「学校安全」 運営概要

【研究課題】命を守る安全教育の推進と校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- (1) 自ら判断・行動できる子どもを育てる安全教育の推進
- (2) 地域との連携を図った意図的・計画的な取組の推進

I 分科会研究協議の運営計画

〈リーダーシップの視点1について〉

子どもの安全確保においては、「自分の命は自分で守る」「どこにいても自ら判断して行動できる」という視点を基本におき、発達段階に応じた体験的学習を工夫し、危険予測・回避能力を育てていくことが求められている。このような視点から、子どもが主体性をもって災害等から自らの命を守り抜く危険予測・回避能力をはじめ、自ら判断し行動できる力を身に付けられる安全教育を推進するために校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

【討議の柱1】

☆安全教育を効果的に進めていくための組織体制の整備

【キーワード】

「年間指導計画」「危機管理体制」「教職員の意識」「研修体制」
「避難訓練」「集団下校訓練」「児童引渡し訓練」「避難所開設」

〈リーダーシップの視点2について〉

学校は、子どもの安全を確保するために最大限の努力をすることが求められている。しかし、学校だけの取組では、課せられた役割を全うするのに限界があり、地域・家庭や関係機関との連携や協働がより重要となってくる。このような視点から、地域との連携を図った意図的・計画的な取組を推進するために校長の果たすべき役割と指導性を究明する。

【討議の柱2】

☆保護者や地域、関係機関との連携・協力の推進

【キーワード】

「連絡網（電話・携帯・HP）」「PTA」「町内会」「近隣学校」
「地域防災訓練」「行政・防災担当」「消防署」「警察署」

II 昨年までの成果と課題

第8分科会「学校安全」は、安全教育の推進が喫緊の課題となっていることから、本研究大会から新設される分科会である。

Ⅲ 研究発表の概要

(1) 研究発表者 小樽地区 小樽市立朝里小学校 若林 晋 校長

(2) 発表題 「健やかな体の育成を目指す学校づくりの推進」
～命を守る学校安全の推進と校長の在り方～

(3) 発表者の趣旨

①児童の安全確保を図る組織体制

- ・年間指導計画の整備充実
- ・教職員の安全指導
- ・具体的な取組事例

②児童の安全確保を図る連携の在り方

- ・保護者との連携
- ・地域との連携
- ・関係機関との連携

Ⅳ 協議の流れ

(1) 趣旨説明（5分） 小樽市立花園小学校長 小杉 芳博 校長

- ・趣旨、研究の視点、研究協議などについて
- ・プロジェクターによるプレゼンテーション

(2) 研究発表（30分） 小樽市立朝里小学校長 若林 晋 校長

- ・プロジェクターによるプレゼンテーション

(3) 研究協議①（50分） グループ協議と発表

- ①自己紹介（名刺交換）
- ②各学校や地域の取組状況
- ③研究発表・視点に関するグループ内意見交換
- ④グループの発表内容の確認

(4) 研究討議②（75分）

- ①グループ発表
- ②全体討議

(5) まとめ

小樽市立花園小学校 小杉 芳博 校長

(文責： 札幌市立美しが丘緑小学校 角野 誠)